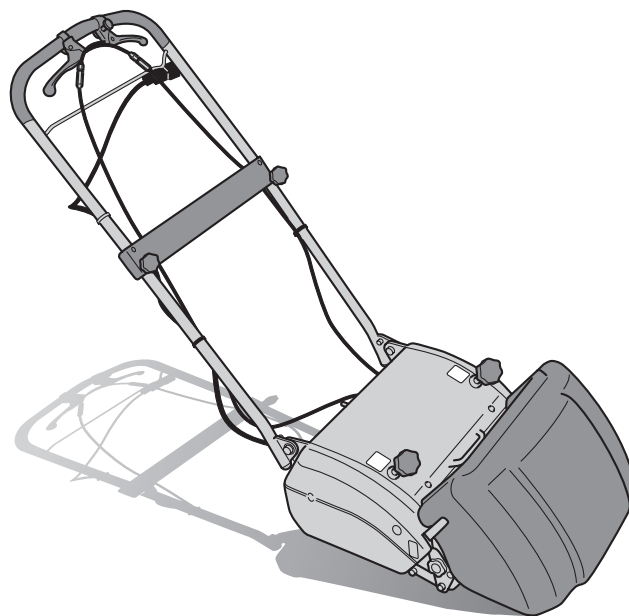


LM12MH

自走式モーターモア

取扱説明書&パーツカタログ



“必読” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの取扱説明書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Serial No.20001-

Ver.2.0

目次

ごあいさつ 	1	3. 刃物の調整方法.....	8
安全に関する警告について.....	1	3-1. 本機から集草箱を外す.....	8
安全上の注意事項  	2	3-2. 本機を後方に倒す 	8
使用目的.....	2	3-3. 刃合わせの状態を確認する 	9
各部の名称と警告表示ラベル貼付位置.....	4	3-4. 刃合わせをする 	9
梱包品の確認 	5	4. 簡易研磨のしかた.....	10
仕様.....	5	4-1. 簡易研磨の手順 	10
電気配線図.....	5	5. お手入れと保管方法 	11
取扱説明.....	6	5-1. 日常のお手入れについて.....	11
1. 使用前の準備.....	6	5-2. モータカバー内の清掃について 	11
1-1. ハンドルを固定する.....	6	5-3. 保管について 	12
1-2. 刃合わせの状態を確認する 	6	6. 故障と対処 	12
1-3. 刈高（刈った後の芝生の長さ）を設定する.....	6	パーツカタログ.....	13
1-4. 集草箱を本機へ取付ける 	6	部品注文について.....	13
1-5. 電源コードのプラグをコンセントへ差込む.....	7	1. フレーム・前ローラー・減速部.....	14
2. 芝刈作業.....	7	2. リール・車輪部.....	18
2-1. スイッチを入れる 	7	3. ハンドル・集草箱部.....	20
2-2. 本機を自走させる 	7	4. 付属品部.....	22
2-3. 刈込み.....	7	5. オプション.....	22
2-4. 刈込み作業が終わったら 	8		
2-5. 運送時の注意 	8		

ごあいさつ

このたびは、バロネス自走式モーターモアLM12MH型を、お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、正しい取扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。

正しく安全に操作していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、十分ご理解の上でご使用ください。

なお、工場出荷時に十分な刃合わせ、検査を重ねてから出荷しておりますが、機械が本来の性能を発揮するためには、その取扱方法と作業前後の点検、調整など日常の管理が大きく影響します。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全にそして効果的にご愛用くださるようお願い申し上げます。

また、ご使用中の不審な点や故障等については、お近くの販売店または弊社営業所にお問合わせください。その際には、機械の型式と製造番号を合わせてお知らせください。

ご 注 意

●本機は、型式が順次変わっている場合があります。

本機に関するお問合わせの節は、必ず型式・製造番号を合わせてご通知くださいますようお願いいたします。

●なお、本書記載事項は、予告無しに変更する場合があります。

注意 …… 使用について

- ・ この取扱説明書や機械に使用されている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。
- ・ 取扱い方法や安全注意事項を注意してお読みいただき、十分ご理解の上でこの機械をご使用ください。
- ・ マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換してください。


なお、本機に貼られている警告表示ラベルは絶対にはがさないでください。


安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

警告表示について

 **警告** …… その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。

 **注意** …… その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れがある、または物的損害の発生が予測されるものを示しています。



安全上の注意事項

⚠ 警告

●取扱方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。

- ❗ 本機は鋭利な刃物で芝を刈る機械ですので使い方をあやまると大変危険です。構造をよくご理解の上でご使用ください。本機には幼児やペットを近づけないでください。また、子供に使用させないでください。

●安全のための衣服について！

- ❗ 安全のため、作業に適した保護器具、眼鏡、靴、手袋等を着用し、必ず長ズボンで作業を行ってください。機械に巻込まれたり、刃物に当たった小石類が飛散し、思わぬケガをするおそれがあります。

●回転刃に触れる場合は必ずスイッチを切って電源プラグを抜き、手袋を着用する！

- ⚡ 刃先は非常に鋭利で、不意にスイッチが入って回転すると大変危険です。取り扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。

●必ず集草箱を取付けて作業する！

- ⚡ 集草箱を取付けずに作業をすると、小石類や刈った芝が飛散し、思わぬケガをする恐れがあります。また刃物が回転している間は、排出口の近くは小石類の飛散の危険がありますので手や顔を近づけないでください。

●レバーを戻した後も回転刃に注意する！

- ⚡ スイッチレバーを戻した後も、回転刃はしばらく回転しています。機械の持ち運びや集草箱の脱着、点検、お手入れは、必ず回転刃が止まっていることを確認し、電源プラグを抜いてから行ってください。

●誤って本機を落としたり、ぶつけたときは異常がないか点検をする！

- ❗ 機体などに破損や亀裂、変形などがないか点検してください。それらを修復しないまま作業すると、思わぬケガをしたり、機械故障の原因となります。

●ご使用前に刃物に異常がないか点検する！

- ❗ 刃物にひび、欠けなどの異常があった場合は、お買上げの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。そのまま使用しますと、切れ味が悪くなるばかりでなく、思わぬケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

●屋外使用に適した延長コードを使用する！

- ⚡ 本機をご使用の際は、必ず付属の延長コード（10m）を使用してください。指定以外のコードを使うと感電、ショート、発火のおそれがあります。

●本機の修理をするときは修理技術者以外の人を行わない！

- ⚡ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故や故障またはケガの原因になります。必ずお買い求めの販売店または弊社営業所に依頼してください。

●使用電源はAC100V（50/60Hz）を使用する！

- ❗ AC100Vを超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、故障やケガをする原因になります。

●感電に注意する！

- ⚡ ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。雨中で使用しないでください。
・水洗いをしたり、雨ざらしにはしないでください。

●ご使用中、コードを切断しないように注意する！

- ⚡ 万一コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに使用を止め、電源プラグを抜いてください。感電するおそれがあります。

●機械を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く！



- ⚡ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。また次のような場合も電源プラグをコンセントから抜いてください。
・運搬するとき。
・点検や整備をするとき。
・部品を交換するとき。
・その他、危険が予想される場合

●可燃性の液体やガスのある場所では使用しない！


- ❗ 思わぬ事故をおこし、本機の破損またはケガをする恐れがあります。

注意


●ご使用前に異常がないか点検する！

-  ・ ボルト、ナット類にゆるみがないか点検してください。
-  ・ カバー、集草箱はきちんと取付けられているか点検してください。
- ・ 異常音、変形、破損等がある場合は、必ず修理してから使用してください。


●芝生内の障害物を取除く！

-  ・ 芝生内に小石、木片、金属片等があると、刃先を傷めます。
- ・ ご使用前には注意して取除いてください。


●異物を噛込んだときはすぐにスイッチレバーを戻し、電源プラグを抜く！

-  ・ 異物を噛込んだまま作業を続けると故障の原因になります。噛込んだ異物は取除き、刃物に異常がないか点検してから作業を再開してください。


●機械の改造はしない！

- ・ 本機は該当する安全規格に適合しています。改造はしないでください。
-  ・ モーターカバー内部にある白色の薄い板、キャップおよびブッシュは感電を防ぐためのものです。絶対に取外さないでください。
- ・ 機械の手入れに必要な部品は安全確保のために、純正部品をご使用ください。


●勾配の急な斜面では特に注意して使用する！

- ・ 不安定な場所に放置しますと、倒れて危険をとまいません。
-  また、確実に本機を保持していないと機械が振れ、思わぬケガをするおそれがあります。

●コードを乱暴に扱わない！

- ・ コード部を引っ張ってコンセントから抜かないでください。
-  ・ コードを熱、油の近くや角の尖った場所に近付けないでください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、新しいものと交換してください。

●機械を他人に貸すときは取扱い方法を説明する。

-  ・ 機械を他人に貸すときは取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前によく読むように指導してください。

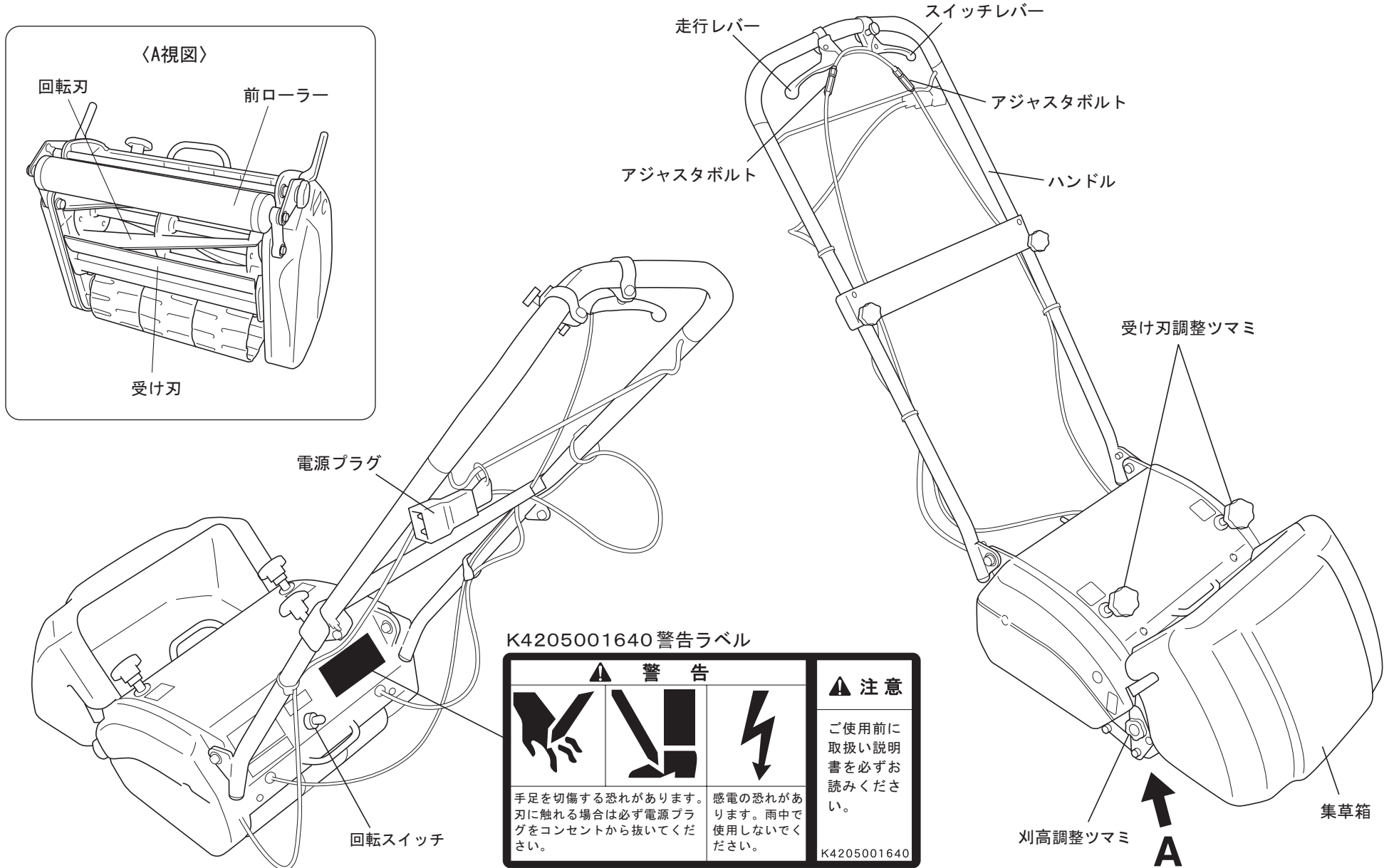
使用目的

本機は、庭の芝草刈り作業を目的とした機械です。

この作業目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

本機をその他の作業目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

各部の名称と警告表示ラベル貼付位置



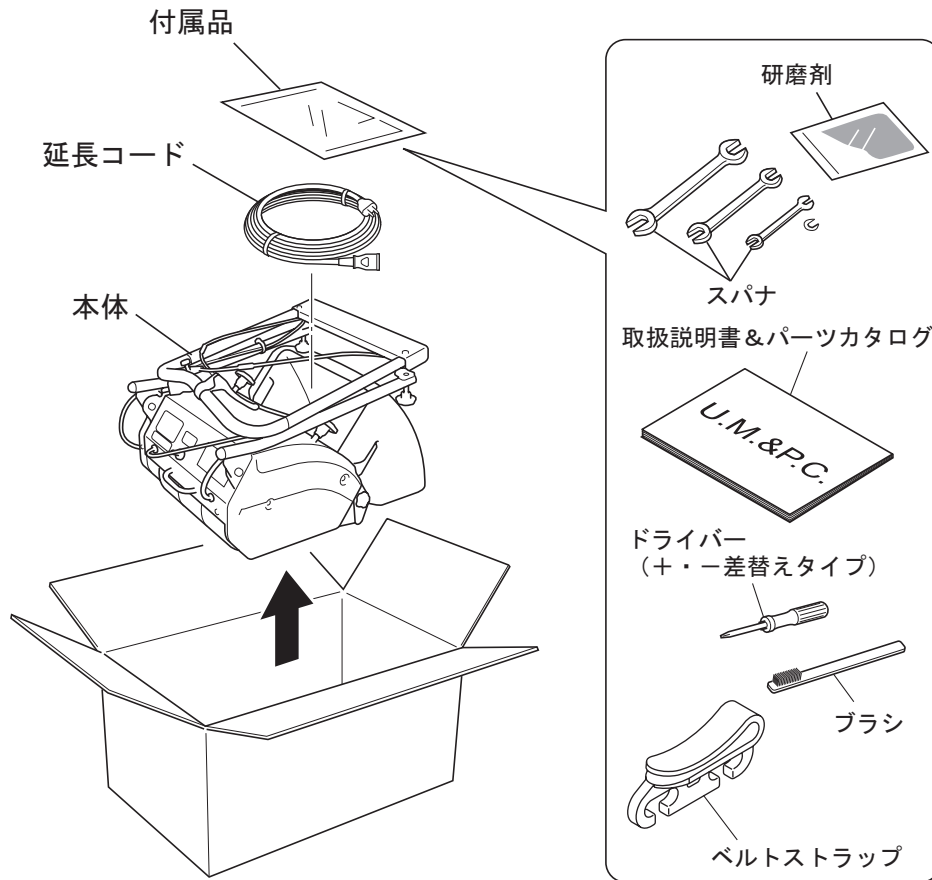
梱包品の確認

注意

ダンボール箱から本体を取出す際は、刃物で手や指を切らないように十分注意してください。



ダンボール箱を開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。
※箱、梱包材は収納時や移転時に必要です。大切に保管してください。



仕様

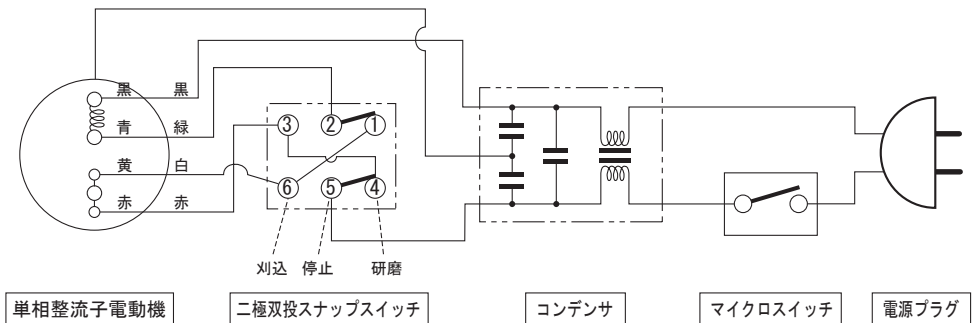
型式	LM12MH		
寸法	全長	グラスキャッチャー有	114 cm
	全巾		42 cm
	全高	ハンドル	89 cm
質量	本体	グラスキャッチャー有	21.5 kg
		グラスキャッチャー	0.5 kg
作業巾 (刈巾)	30 cm		
作業範囲 (刈高)	5.0 - 30.0 mm (6段階)		
リール刃数	6 枚		
駆動方式	走行	メカ方式	
能率	350 ~ 420 m ² /h (約 100 ~ 130 坪/h)		
モーター	種類	AC モーター	
	電圧 / 消費電力	交流 100V (50/60Hz) / 270W	
コード	10m		

注意



・本機は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。

電気配線図

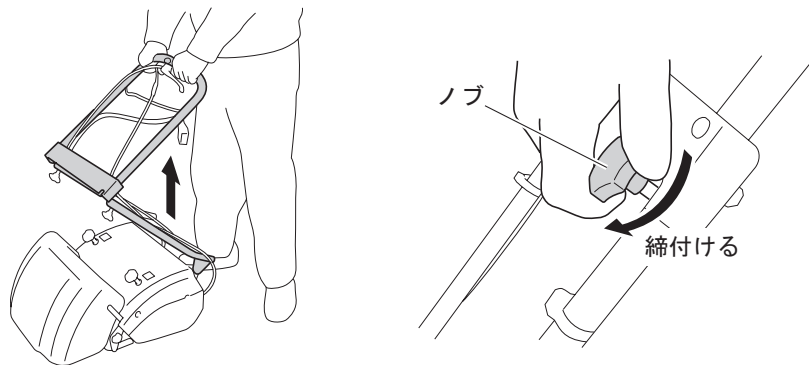


取扱説明

1. 使用前の準備

1-1 ハンドルを固定する

ハンドルを伸ばしてノブで締付けます。



1-2 刃合わせの状態を確認する

「3-4. 刃合わせをする (P9)」を参照し刃合わせをします。

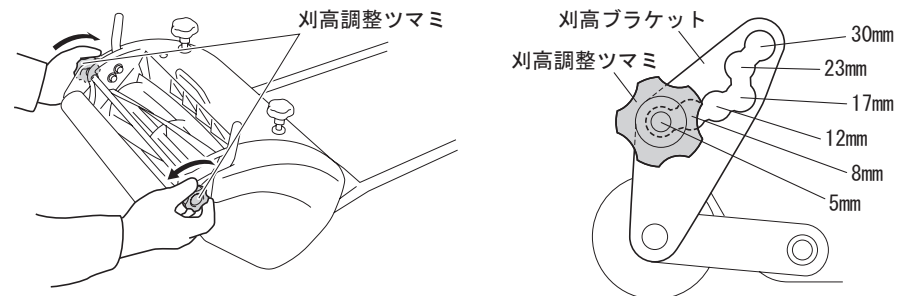


刃先は非常に鋭利なため大変危険です。取扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。また、刃合わせの確認をする場合は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。



1-3 刈高（刈った後の芝生の長さ）を設定する

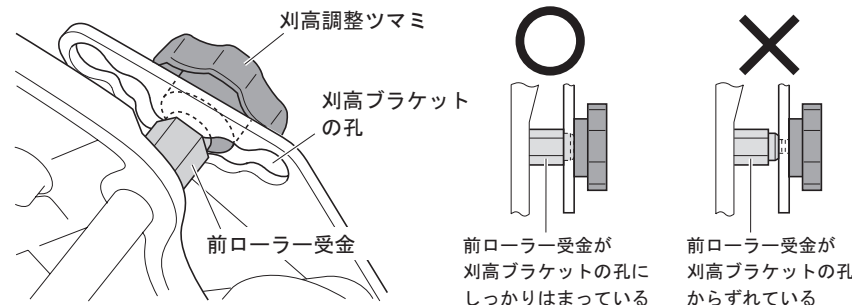
刈りたい芝生の長さにより、お好みの刈高に設定してください。刈高を設定するには、本機の両端にある刈高調整ツマミを同時に反時計方向に回してゆるめ、刈高ブラケットを設定したい刈高の孔位置へ移動してツマミを締付けてください。



※刈高は5、8、12、17、23、30mmの6段階から選択できます。

ポイント

- ・刈高ブラケットは左右同じ位置に設定し、芝刈作業前に再度確認してください。
- ・下図のように刈高ブラケットの孔位置がずれたままツマミを締めると、刈高が左右そろわないばかりか、部品を傷める原因となりますので注意してください。
- ・長い芝生を刈る場合は、一度に長く刈らずに数回に分けて徐々に刈高を低くしてください。

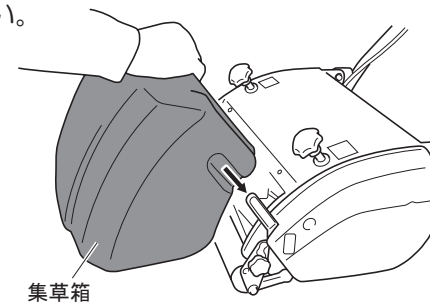


1-4 集草箱を本機へ取付ける

集草箱を本機にしっかりと取付けてください。



集草箱を取付けずに作業をすると、小石類や刈った芝が飛散し、思わぬケガをする恐れがあります。



1-5 電源コードのプラグをコンセントへ差込む

- ① 本機の電源プラグを延長コードに接続する。
- ② 延長コードをコンセントに差込む。電源はAC100V（50/60Hz）です。



2. 芝刈作業

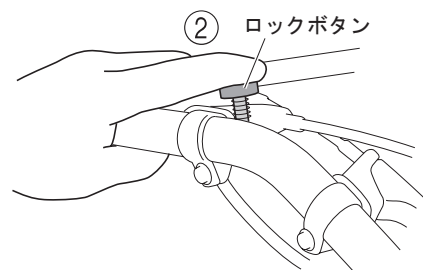
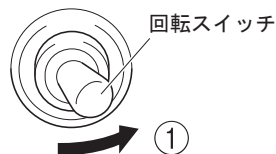
2-1 スイッチを入れる

- ① 本機後部の回転スイッチを「刈り込み」側に入れます。（図参照）
- ② ハンドル左側のスイッチレバーを、ロックボタンを押しながら握ると回転刃が回ります。レバーから手を離すとスイッチレバーが戻り、回転刃が止まります。

警告



- ・ロックボタンは安全のためのものです。外したり改造しないでください。
- ・スイッチレバーを握ったままで固定（紐で縛る等）するなどの改造をしないでください。事故や故障またはケガの原因となります。



2-2 本機を自走させる

スイッチレバーを握っているときにハンドル右側の走行レバーを握ると本機が自走します。

警告



- ・走行レバーを握ったままで固定（紐で縛る等）するなどの改造をしないでください。事故や故障またはケガの原因となります。

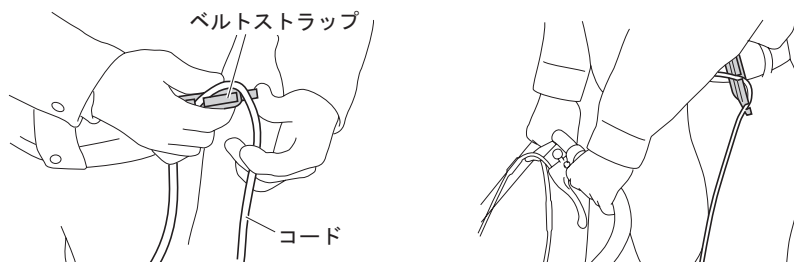
注意



- ・刈込み作業中は延長コードが刈込み範囲内に入らないように十分注意してください。

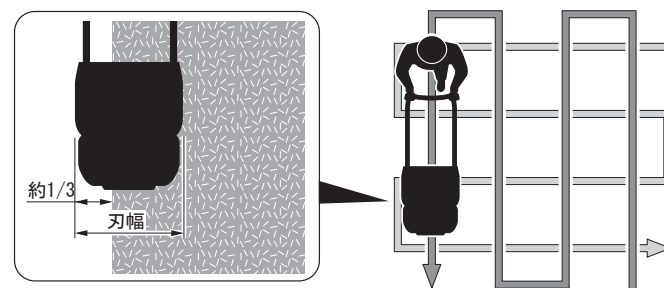
ポイント

- 付属のベルトストラップで手元からのコードをベルトにかけると、コードを踏みにくくなり作業しやすくなります。



2-3 刈込み

刈込み方向を変えて重ね刈りをすれば、きれいに刈ることができます。また、一度刈った場所に刃幅の1/3を重ねて刈ると、刈り残しやムラがなくなりきれいに刈ることができます。



ポイント

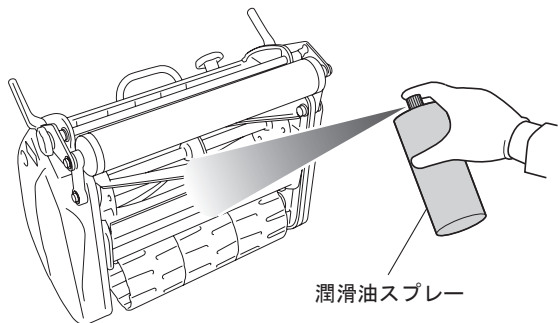
- ・芝生内に小石、木片、金属片等があると、刃先を傷めます。刈込み前には必ず取り除いてください。
- ・作業中は集草箱内の刈草の量に注意し、いっぱいになる前に刈草を捨ててください。刈草がこぼれ、刈跡がきたなくなります。

2 - 4 刈込み作業が終わったら

いつまでも最良の切れ味を保つために、使用後はきれいに掃除をしてください。長期保管をするさいには、刃先や可動部に潤滑スプレー等を吹掛けて注油してください。

▲ 注意

本体左右のカバー内部のベルトには絶対注油しないでください。ベルトが劣化します。



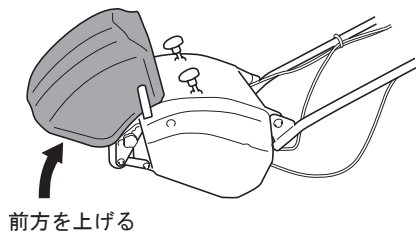
2 - 5 運搬時の注意

そのまま押して移動する場合は、図のように前ローラーを地面から上げて刃を傷めないように注意してください。

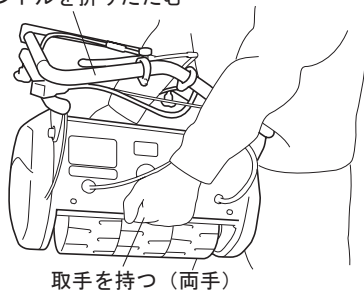
階段等で機械を持上げて運ぶ場合は、ハンドルを折りたたみ両手でそれぞれ取手を持って移動してください。

▲ 注意

ハンドルを伸ばしたまま持上げて運搬すると、ハンドルが他の物にあたった場合非常に危険です。絶対におやめください。



ハンドルを折りたたむ



3. 刃物の調整方法

刃合わせ（刃物の調整）は、2枚重ねの新聞紙を回転刃と受刃ではさみ、回転刃を手でゆっくり回したときに新聞紙が2枚ともきれいに切れるように受刃調整ツマミを回し（受刃を微調整）ます。

ポイント

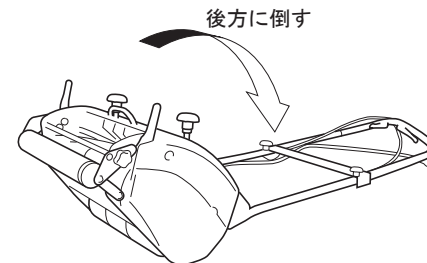
- ・ 出荷時は刃合わせを最良の状態にしてありますが、輸送時などのショックにより、刃合わせを必要とする場合もあります。ご使用前に刃合わせの状態を確認してください。
- ・ 回転刃と受刃はできるだけ軽く合わすことが切れ味を長く維持し、刃を長持ちさせるコツです。

3 - 1 本機から集草箱を外す

本機から集草箱を取外してください。

3 - 2 本機を後方に倒す

図のように本機を後ろ方向へ静かに倒してください。



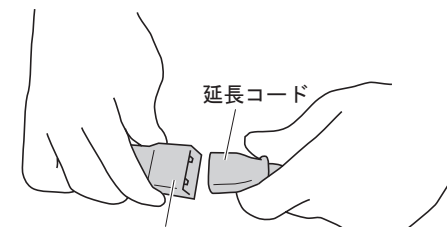
▲ 注意



- ・ 本機後方の回転スイッチが「停止」で、電源プラグが抜いてあることを確認してください。
- ・ 本機が動かないように、安定の良い平らなところで作業してください。



「停止」にする



本機の電源プラグを抜く

3 - 3 刃合わせの状態を確認する

警告



- ・回転刃に手や指が触れるとケガをする恐れがあります。必ず手袋を着用し、取扱いには十分に注意してください。ただし、リールカッターを回すときに手袋等が巻き込まれると、手や指を切る恐れがありますので、十分注意してください。
- ・刃合わせをしているときに本機に人やペット等が触れて動くと非常に危険ですので、周囲に気を配り作業してください。

刃合わせは、必ず左部・中央部・右部の3ヶ所を確認してください。用意した新聞紙を適当な大きさにカット（短冊形）し、2枚を重ね合わせます。回転刃を手で回して2枚重ねの新聞紙を切って、刃の各部（左部・中央部・右部）の刃合わせ状態を確認します。

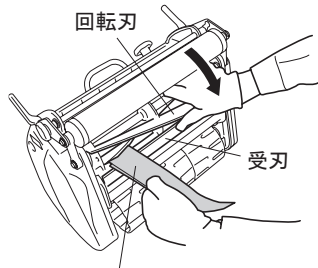
3 - 4 刃合わせをする

ポイント



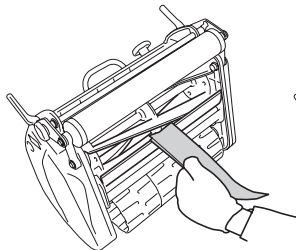
- ・回転刃の左部・中央部・右部の全部分で、新聞紙がきれいに切れるまで左右のツマミを微調整してください。
- ・回転刃と受刃はできるだけ軽く合わすことが切れ味を長く維持し、刃を長持ちさせるコツです。

〈刃の左部〉

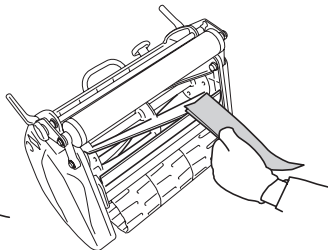


新聞紙（2枚重ね）

〈刃の中央部〉



〈刃の右部〉



切断後の新聞紙の状態と症状	○ 新聞紙 (2枚重ね) ・新聞紙がスパッときれいに切れた	✕ 新聞紙 (2枚重ね) ・新聞紙が折れて切れない ・新聞紙は切れたが、切った面が繊維が毛羽立ったような状態になる	✕ 新聞紙 (2枚重ね) ・刃合わせがキツくて新聞紙が切りにくい ・力を入れて回転刃を回さないと新聞紙が切れない ・新聞紙を切ろうとしても刃が重くて動かない
	↓	↓	↓
刃の 状態 合わせ	良い	ユルイ	キツイ

刃合わせの確認後、刃合わせが「キツイ」または「ユルイ」場合は、次の要領で調整を行ってください。

キツイ場合

ユルム

受刃調整ツマミを「ユルム」の方向に少量ずつ回しながら、全面で新聞紙がきれいに切れるまで調整してください。

ユルイ場合

シマル

受刃調整ツマミを「シマル」の方向に少量ずつ回しながら、全面で新聞紙がきれいに切れるまで調整してください。

注意



- ・刃合わせがキツイとモータ焼損の原因や、回転刃と受刃が強く当たるため刃が傷みますので注意してください。

4. 簡易研磨のしかた

刃合わせ調整をしても切れ味が悪いようでしたら、刃の研磨が必要です。以下の方法で簡易研磨をしてください。

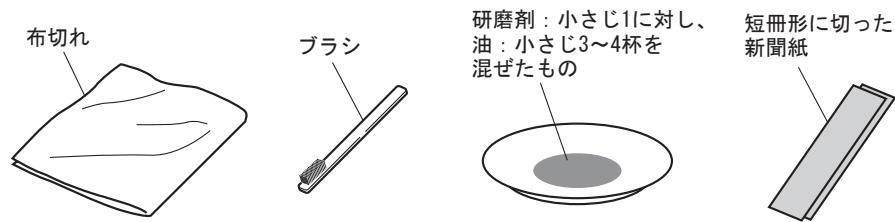
4 - 1 簡易研磨の手順

警告



- ・研磨作業前に刃合わせ調整を行いますので、必ず回転スイッチを「停止」にして電源プラグを抜いてください。
- ・回転刃に手や指が触れるとケガをする恐れがあります。必ず手袋を着用し、取扱いには十分に注意してください。ただし、リールカッターを回すときに手袋等が巻き込まれると、手や指を切る恐れがありますので、十分注意してください。
- ・本機が動かないように安定の良い平らなところで作業してください。

① 次のものを準備します。

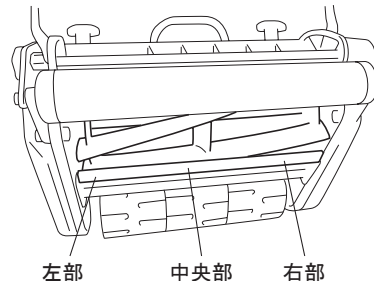


② 本機を後ろ方向へ静かに倒します。

③ 「3 - 4. 刃合わせをする (P9)」を参照し刃合わせをします。

④ 回転刃と受刃の左部・中央部・右部の3ヶ所で刃合わせを確認します。新聞紙の切れ方(切れる、切れない)をよく見て確認してください。

- 【例】A: 左右切れて、中央部の切れが悪い。
B: 左右切れるようにすると中央部の刃がきつい。



⑤ ④で確認した新聞紙の良く切れる部分に、研磨剤をブラシで塗って刃を研磨します。

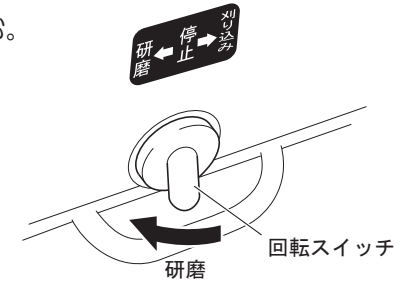
このとき新聞紙が切れない場所は刃が減っているところですから研磨剤を塗らないでください。

【例】A: 左右切れて、中央部の切れが悪い場合は左右に研磨剤を塗ります。

B: 左右切れるようにすると中央部の刃がきつくなる場合は中央部に研磨剤を塗ります。

⑥ 電源コードのプラグをコンセントへ差込む。

⑦ 本機後部の回転スイッチを「研磨」側に入れる。スイッチレバーを握り、回転刃を逆転させてください。



⑧ しばらく逆回転させておき、接触音がしなくなったら本機後部の回転スイッチを「停止」にし、電源プラグを抜きます。

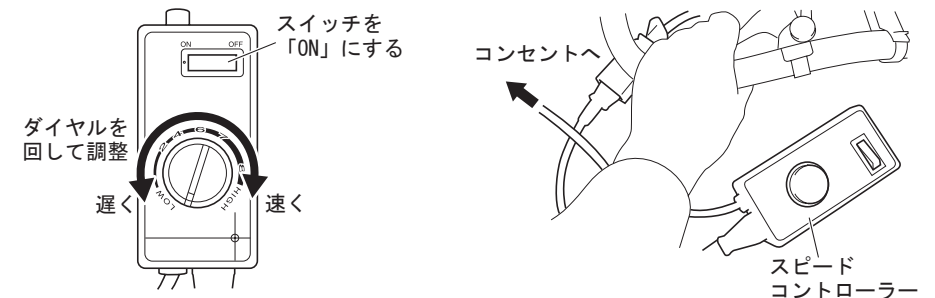
⑨ 回転刃と受刃に付着した研磨剤を布切れでふきとります。

⑩ 回転刃を手で回して新聞紙の試し切りを行い、刃全体の切れ味を確認します。

⑪ 先の⑤～⑩の作業を繰り返しおこない、回転刃と受刃がムラなく全面でかみ合うようになったら研磨の終了です。研磨剤を良くふきとってください。

ポイント

- ・別売のスピードコントローラーをコンセントと延長コードの間に取付けることにより回転刃の回転を無段階で調節できます。回転を遅くすることによりこまやかな研磨ができます。



5. お手入れと保管方法



警告



- ・作業前には必ず逆転スイッチを「停止」にし、電源プラグを抜いてください。
- ・回転刃に手や指が触れるとケガをする恐れがあります。必ず手袋を着用し、取扱いには十分に注意してください。ただし、リールカッターを回すときに手袋等が巻き込まれると、手や指を切る恐れがありますので、十分注意してください。
- ・本機が動かないように安定の良い平らなところで作業してください。

5-1 日常のお手入れについて

ご使用後はきれいに掃除をしましょう。特に刃先や可動部は、よく掃除をして潤滑スプレー等を吹掛けて注油してください。(参照：2-4.刈込み作業が終わったら)

5-2 モーターカバー内の清掃について

- ・本機はモーターカバー内に芝カスやほこり等が入りにくいような設計をしておりますが、使用場所や使用頻度によりそれらが次第に堆積する可能性があります。芝カスが堆積した状態（内部の配線が見えない程度）でご使用になると故障の原因になります。
- ・使用後1年経過したらモーターカバーを外し、中にたまった芝カスやほこり等を掃除してください。その後は、たまった量と使用状況等により間隔を決めて清掃してください。



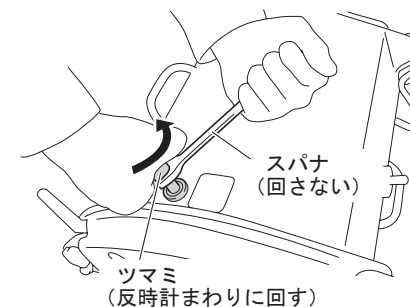
注意



- ・カバー内部にある白色の薄い板（カタログNo. 1-63、1-66、3-8）、キャップ（カタログNo. 1-42）およびブッシュ（カタログNo. 1-46）は感電を防ぐためのものです。取外さないようにしてください。

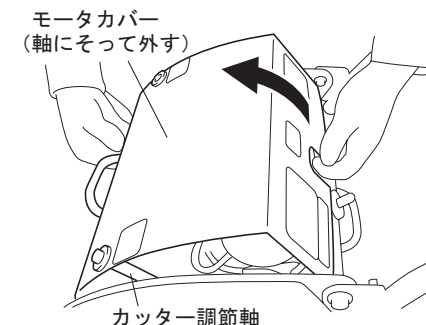
① 電源コードのプラグはコンセントから抜いて作業してください。

② 刃合わせ調整用のツマミ、ナットを外します。ナットをスパナで固定しツマミを反時計まわりに回します。このときスパナ（ナット）を回しますと刃合わせが大きく変わり、刃を傷める可能性があります。しっかりと固定し、ツマミだけを回すようにしてください。

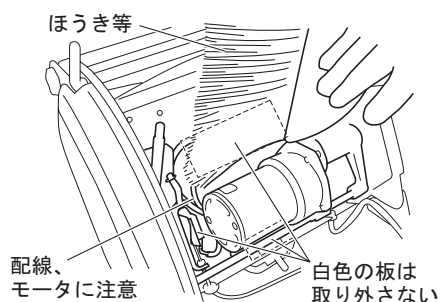


③ カバーを止めている4本のネジをドライバーで外します。

④ 図のように後方を持ち上げながらカッター調節軸にそって斜め前側に外してください。



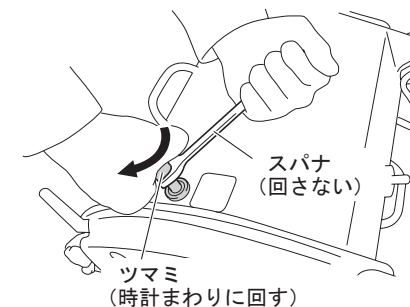
⑤ 図のように本機を後方に倒し、ほうき等で中にたまった芝カスやほこり等をはき出してください。このときモーター側面の穴に芝カスやほこり等を入れないよう、また配線を傷つけないように注意してください。



⑥ カバーを取付け、ネジ、調整用のツマミ、ナットを組みつけてください。

⑦ ナットは軸の奥まで手で入れ、スパナで支えてください。このときスパナ（ナット）は回さないでください。

⑧ ツマミを時計まわりに回し、ナットに当たるまで手で強めに締付けてください。締付けが弱いと刃合わせ調整のときにツマミがゆるんでしまいます。



5 - 3 保管について

本機は雨ざらしになるような場所は避け、必ず屋内に保管してください。
また、長期保管をする場合は刃先や可動部に潤滑スプレー等を吹掛けて注油してください。

注意

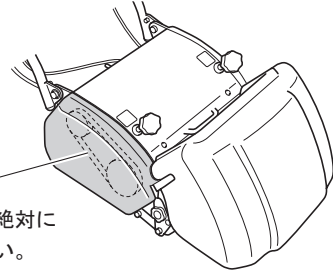
保管時の注意事項



- 以下の条件に該当する場所には保管しないでください。
 - ・高温になる場所
 - ・子供の手が届く場所、簡単に持出せる場所
 - ・湿気が多い場所、湿度や温度の急変する場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・揮発性物質の置いてある場所
- 保管前に注油する際、右カバー内部のベルトには絶対に注油しないでください。故障の原因となります。



右カバー
※カバー内のベルトは絶対に注油しないでください。



6. 故障と対処

注意



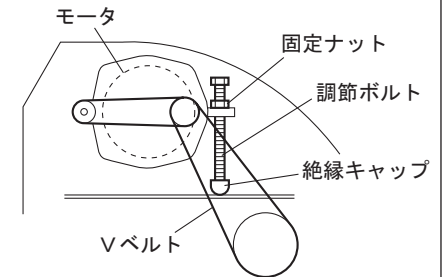
- ・機械の調子が悪いときは無理にご使用にならず、早めに対処を施してください。そのままご使用になりますと、故障やケガの原因 となります。
- ・以下に不具合の様子と原因、簡単な処置のしかたを示します。ここに記載された処置でなおらない場合は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所へご相談ください。
- ・機体の点検、補修、調整や部品の交換をする前には、必ず回転スイッチを「停止」にして電源プラグを抜いてください。また、刃物に触れるときは必ず手袋を着用してください。ただし、リールカッターを回すときに手袋等が巻き込まれると、手や指を切る恐れがありますので、十分注意してください。

モータが回らない

- | | | |
|---------------------------|---|----------------------------|
| 原因：本体後部の回転スイッチが「停止」になっている | → | 対処：本体後部の回転スイッチを「刈り込み」側に入れる |
| 原因：断線 | → | 対処：コードを交換する |
| 原因：回転スイッチの故障 | → | 対処：回転スイッチを交換する |
| 原因：モータの故障 | → | 対処：販売店または弊社営業所に相談する |

回転刃がスムーズに回転しない

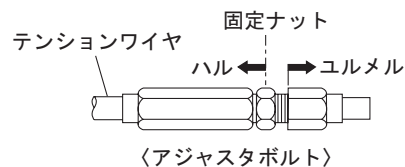
- | | | |
|----------------|---|-----------------------------------|
| 原因：Vベルトがゆるんでいる | → | 対処：モータカバーと右カバーを外し、調節ボルトを回してベルトを張る |
|----------------|---|-----------------------------------|



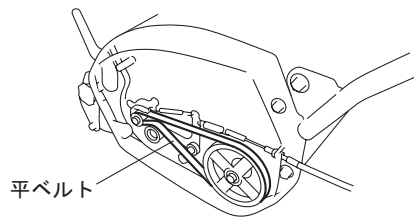
走行レバーを引いても前進しない
または前進してもすぐ止まる

原因：平ベルトの張り具合が悪い

対処：テンションワイヤについているアジャスタボルトで平ベルトの張りを調整する



※指1本で軽く引くだけで前進し、放せば停止するように調整する



きれいに刈れない

原因：刃のかみ合わせに隙間がある

対処：刃合わせを行う

原因：刃先が丸くなっている

対処：簡易研磨を行う

原因：刃先が欠けている、または変形している

対処：販売店または弊社営業所へ研磨を依頼する
または新品と交換する

原因：刈込み方向が毎回同じである

対処：刈込み方向を変える

原因：回転刃が逆転している

対処：本体後部の回転スイッチを「刈り込み」側に入れる

使用中に本機が動かなくなった

原因：刃の部分に芝や異物がかみ込み、モーターが停止している

対処：
1. スイッチレバーを戻す
2. 電源プラグを抜く
3. 刃先部にかみ込んだ芝や異物を取除く

パロネス芝刈機

自走式モーターモア

LM12MH

パーツカタログ

☆本機お問い合わせについて

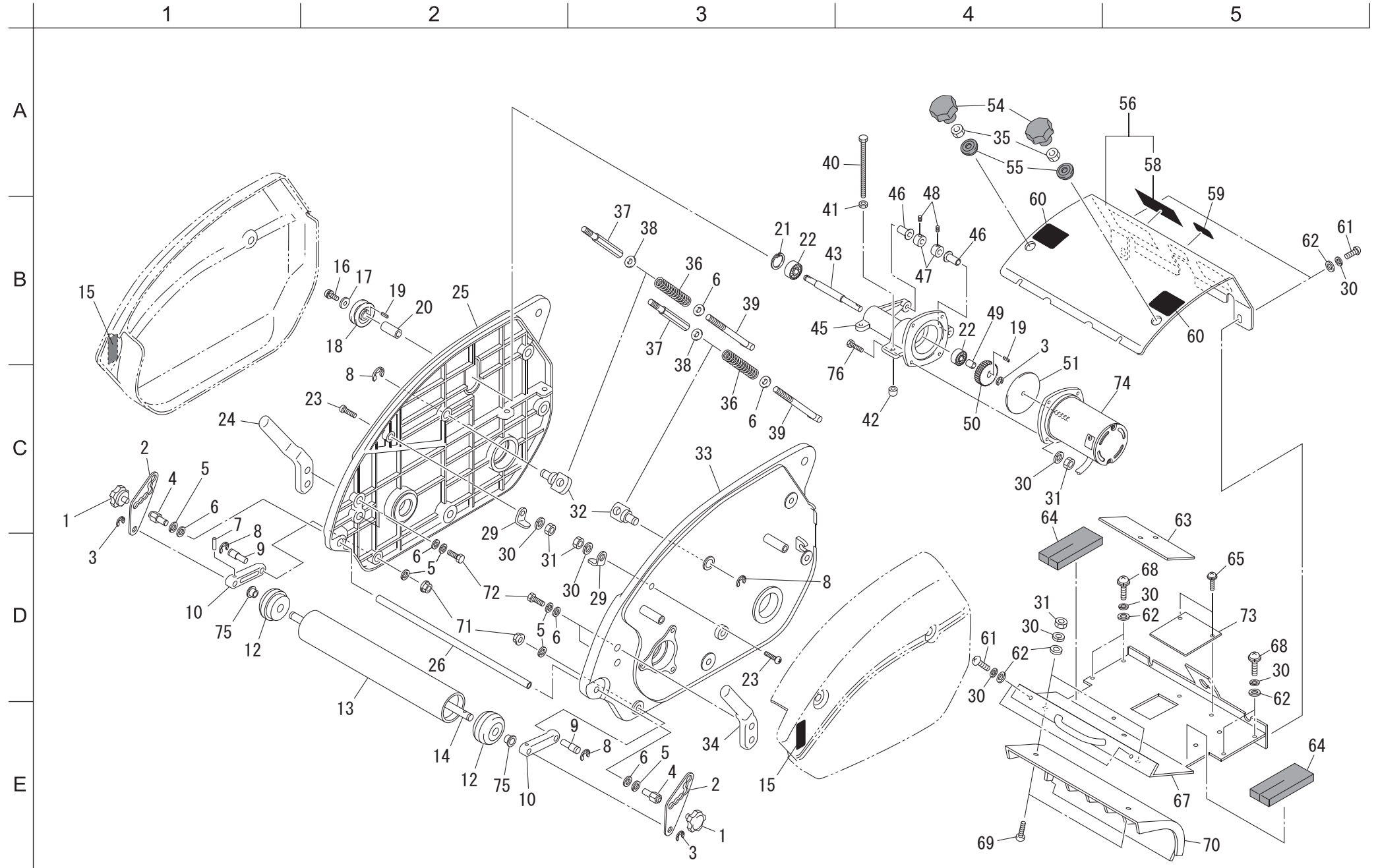
型式が順次変更になっている場合がありますので、機械の型式と製造番号を合わせてご通知くださるようお願いいたします。
なお、本書記載事項は予告なしに変更することがあります。

☆部品注文について

本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号、コード番号、部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	数量
1-1	K1320000170	M6付ツマミ3510	2

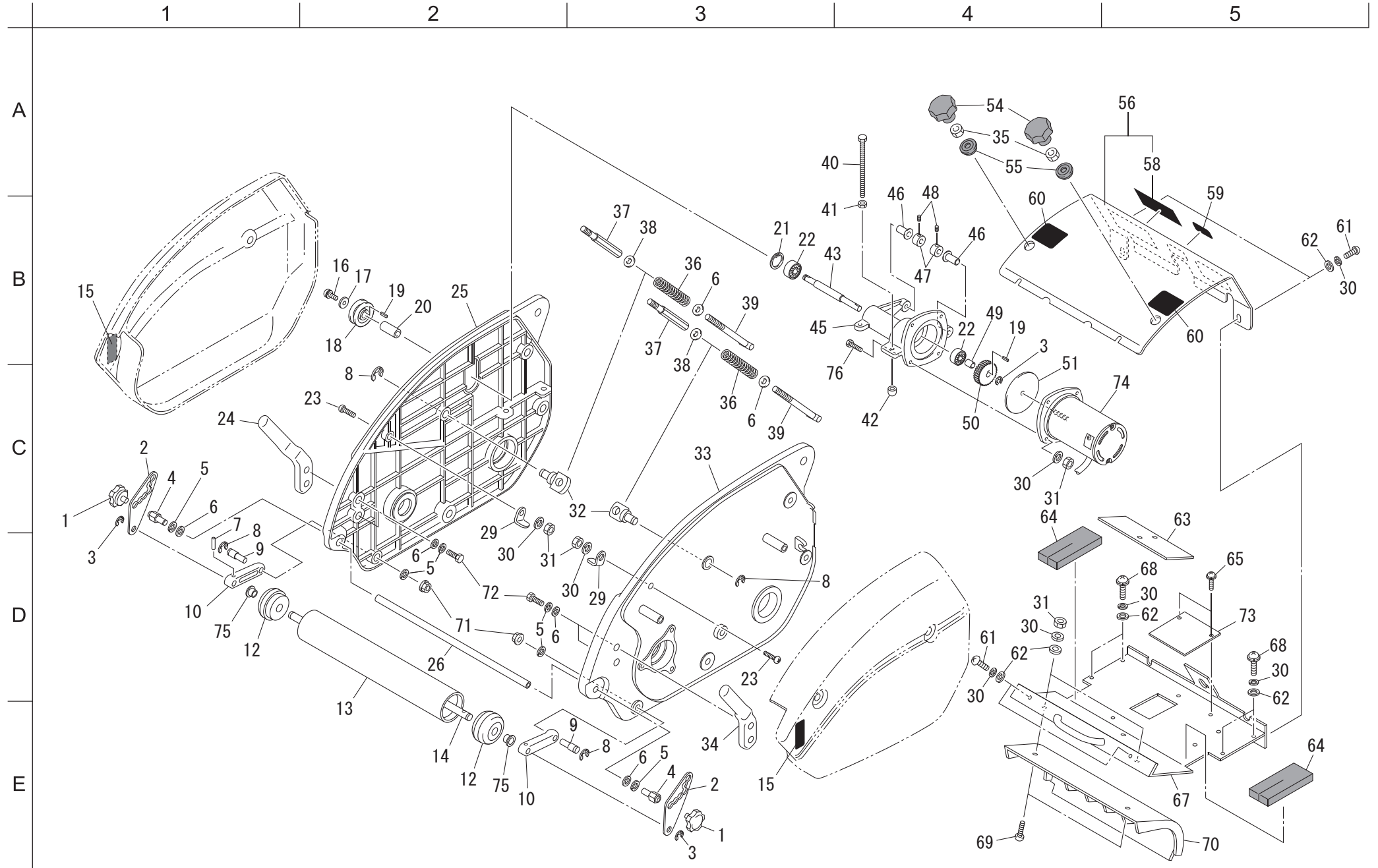
1. フレーム・前ローラー・減速部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1-1	K1320000170	M6付ツマミ 3510	2	
1-2	K5131002262	刈高ブラケット	2	
1-3	K0400008002	ストップリング E8	3	
1-4	K6084000152	前ローラ-受金	2	
1-5	K0200080002	8S ワッシャー	8	
1-6	K5000080002	8 ワッシャー	8	
1-7	K0320040201	4 スプリングピン 20	1	
1-8	K0400009002	ストップリング E9	4	
1-9	K6123000092	ローラーアイドル軸	2	
1-10	K6804000030	ローラー受ケ金	2	
1-11				
1-12	K6202000500	ローラーハウジング	2	
1-13	K6226000110	パイプ	1	
1-14	K6142000032	前ローラ-軸	1	
1-15	K4204000090	刈り高ラベル	2	
1-16	K0044040102	4+丸小ネジ 10SW	1	
1-17	K5011204162	1.2SPCC 座金 416	1	
1-18	K2400000010	M1V プーリー 1044	1	
1-19	K0520303100	3片丸キー 3.510	2	
1-20	LM12MF-0108Z2	伝導プーリーパイプ	1	
1-21	K0402026001	ストップリング R26	1	
1-22	K0608060000	ベアリング 60002RS	2	
1-23	K0042050252	5+丸小ネジ 25	2	
1-24	K6809000290	取付金右	1	
1-25	LM12MH-0302ZR	右フレーム	1	
1-26	K6224000032	ステーパイプ	1	
1-27				
1-28				
1-29	K5270002432	フレーム押エ金	2	
1-30	K0200050002	5S ワッシャー	12	
1-31	K0100050002	5ナット	6	
1-32	K7899000652	受刃スプリング受ケ	2	
1-33	LM12MH-0301ZR	左フレーム	1	
1-34	K6809000280	取付金左	1	
1-35	K0100100002	10ナット	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1-36	K1000000428	3.5 圧縮バネ 17100	2	
1-37	LM12MH-0330Z2	ロッド	2	
1-38	K5011008142	1SPCC 座金 814	2	
1-39	K7147000202	カッター調節軸	2	
1-40	K0000060702	6 ボルト 70	1	
1-41	K0100060002	6 ナット	1	
1-42	LM12MH-0105Z0	絶縁キャップ	1	
1-43	LM12MF-0105Z0	動力取出軸	1	
1-44				
1-45	LM12MH-0101A0	ギヤケース	1	
1-46	LM12MH-0103Z0	絶縁ブッシュ	2	
1-47	LM12MF-0107Z2	モーター支点止金	2	
1-48	K0028060100	6ステンレスホーローセット 10	2	
1-49	LM12MF-0104Z0	54 丁ギヤカラー	1	
1-50	LM12MF-0103A0	54 丁ギヤ	1	
1-51	K5010609802	0.6SPCC 座金 980	1	
1-52	K3810000040	シリーズモーター 4012	1	
1-53				
1-54	K1320000240	M10 ノブ	2	
1-55	LM12MH-0415Z0	膜付グロメット C30SG20A	2	
1-56	LM12MH-0340Z0	モーターカバー COMP	1	
1-57				
1-58	K4205001640	警告ラベル	1	
1-59	K4203001240	研磨・刈込みマーク	1	
1-60	K4209001160	刃合わせラベル	2	
1-61	K0042050082	5+丸小ネジ 8	4	
1-62	K5000050002	5 ワッシャー	6	
1-63				
1-64	LM12MH-0323A0	フィルタ	2	
1-65	K0044030102	3+丸小ネジ 10SW	2	
1-66				
1-67	LM12MH-0311ZR	天板	1	
1-68	K0044050122	5+丸小ネジ 12SW	4	
1-69	K0042050102	5+丸小ネジ 10	2	
1-70	K716300046R	リールカバー	1	

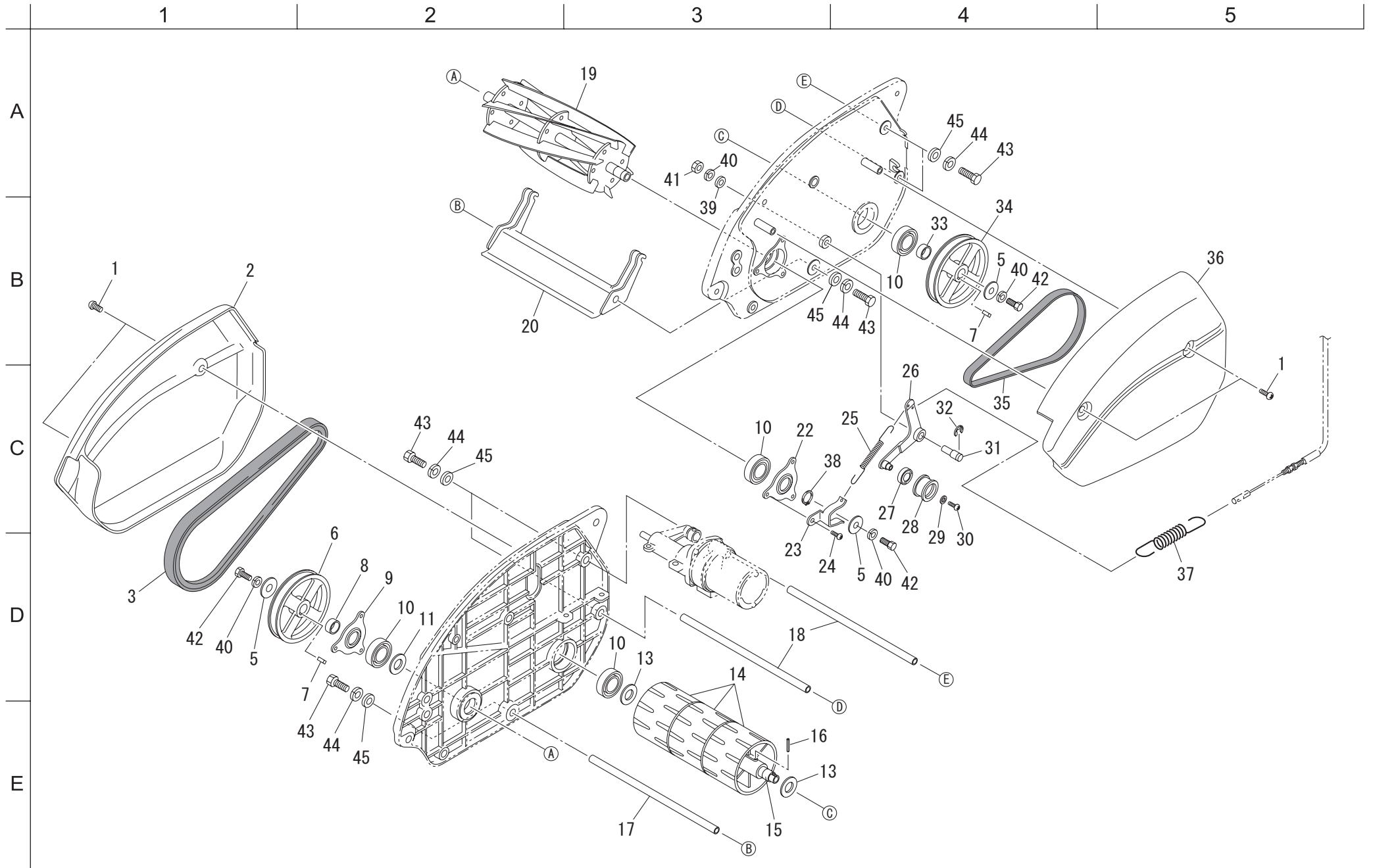
1. フレーム・前ローラー・減速部



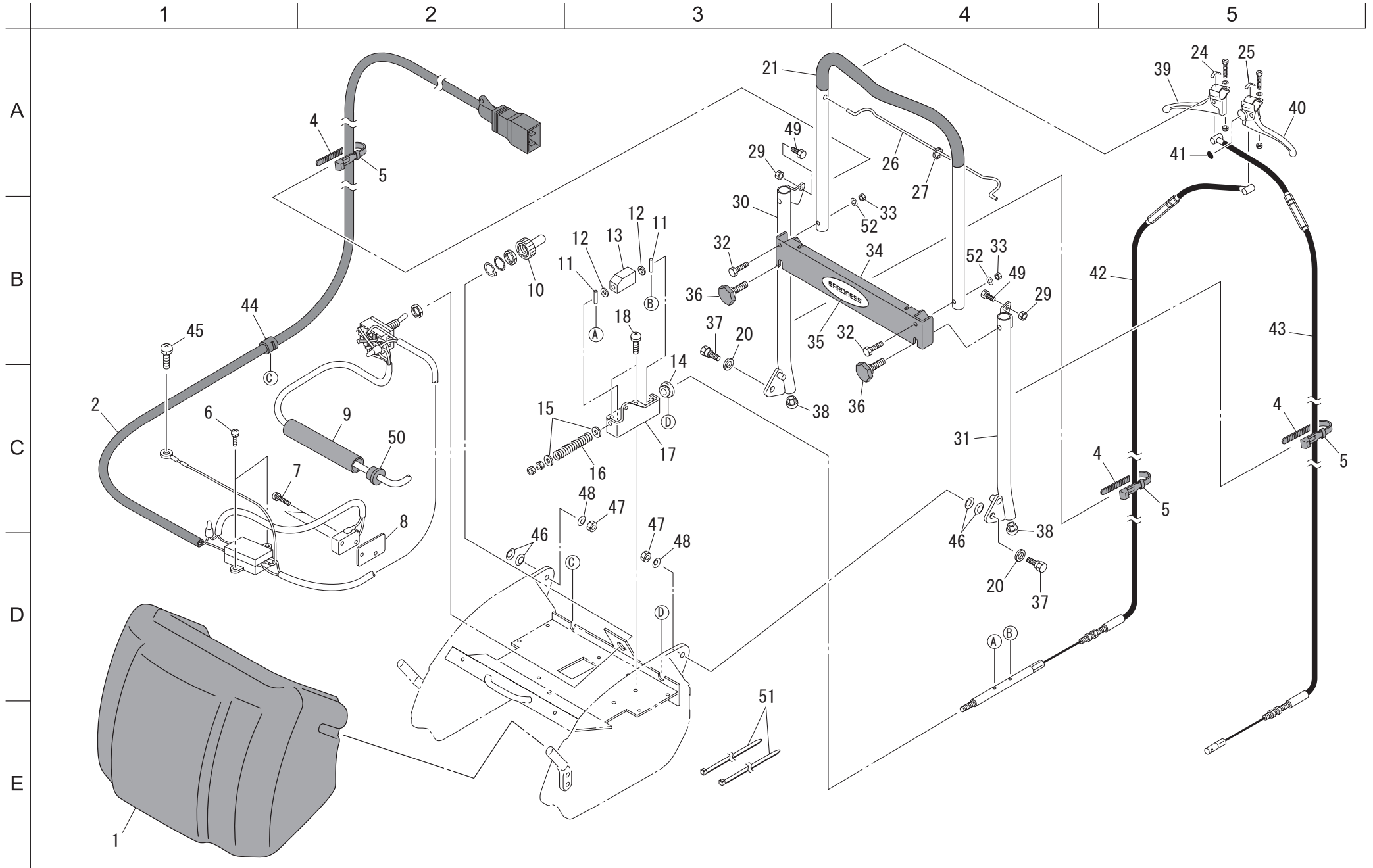
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1-71	K0100080002	8ナット	2	
1-72	K0000080252	8ボルト 25	4	
1-73	LM12MH-0314Z0	絶縁板	1	
1-74	K3810000050	UM-M7 モーター	1	
1-75	K6010000180	10 フランジブッシュ 1218	2	
1-76	K0000050252	5ボルト 25	4	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考

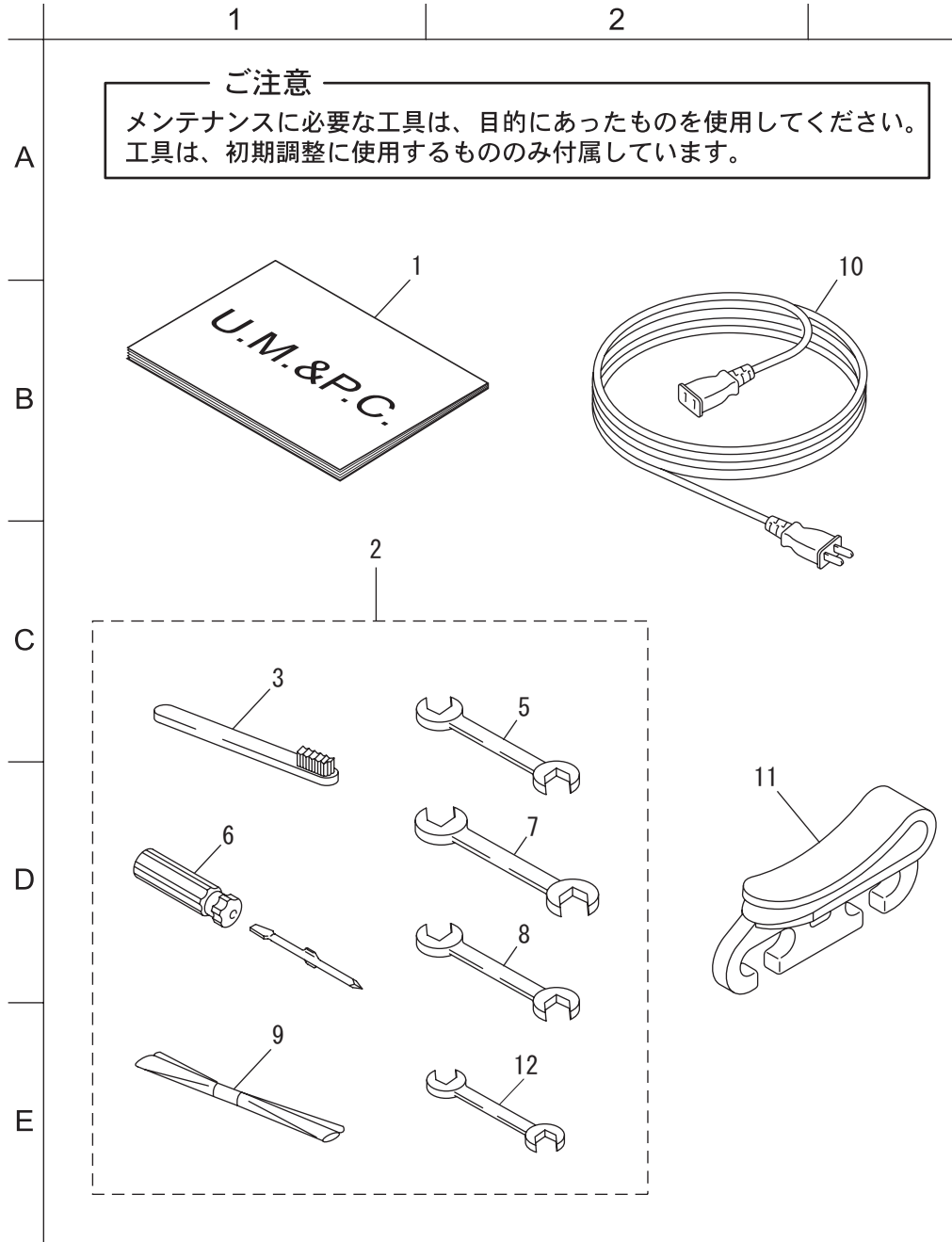
2. リール・車輪部



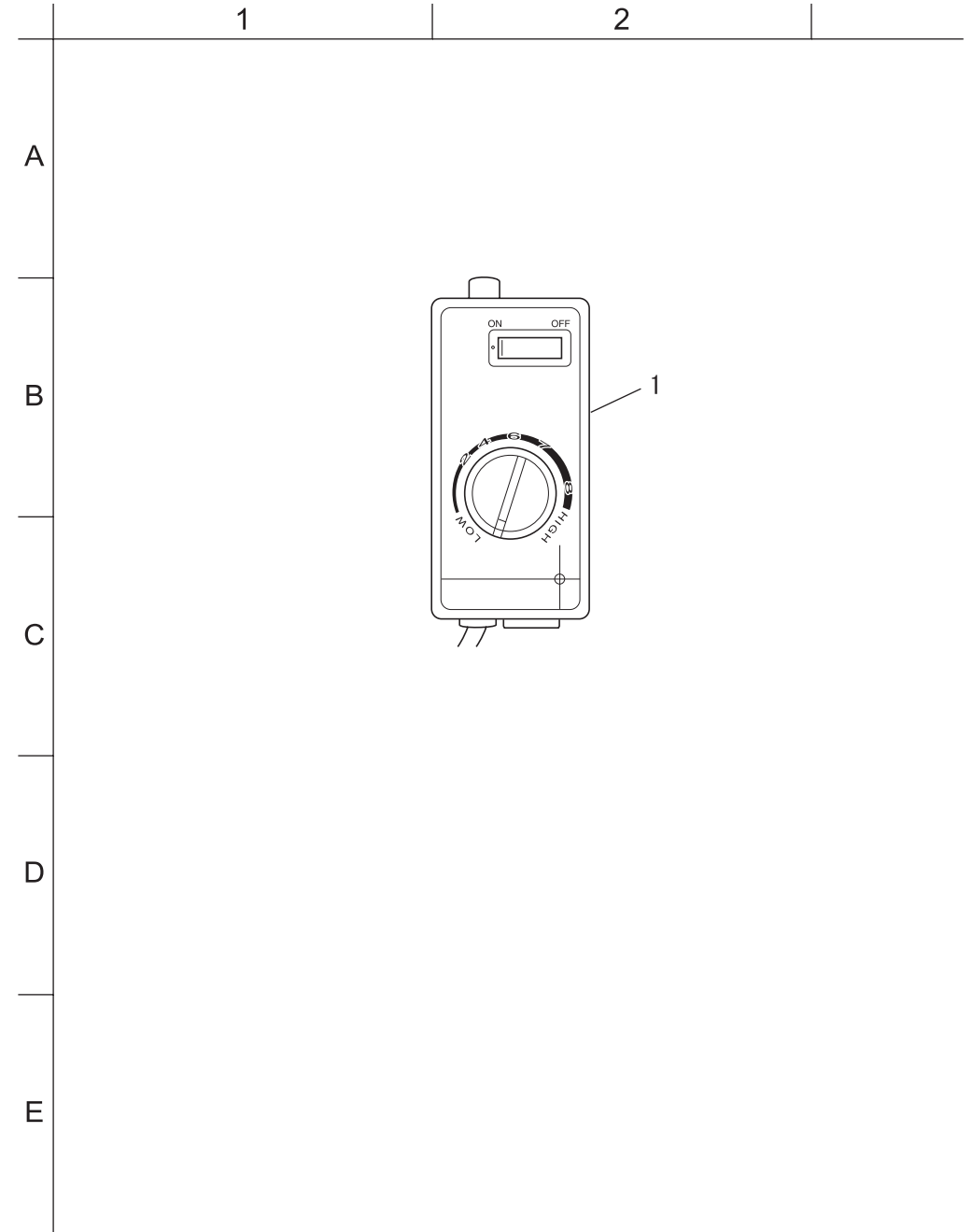
3. ハンドル・集草箱部



4. 付属品部



5. オプション



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
4-1	LM12MH-10A-04	取扱説明書・パーツカタログ	1	
4-2	K4809000040	工具セット	1	
4-3	K4803000010	ブラシ小	1	
4-4			1	
4-5	K4810100132	スパナ 10 × 13	1	
4-6	K4820000010	＋ドライバ	1	
4-7	K4810130172	スパナ 13 × 17	1	
4-8	K4810100122	スパナ 10 × 12	1	
4-9	K4804000010	# 200 ラッピングパウダー 20	1	
4-10	LM12MH-0501Z0	2P 10 メーターコード	1	
4-11	LM12MH-0602Z0	ベルトストラップ	1	
4-12	K4810080102	スパナ 8 × 10	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-1	LM12MH-0601Z0	スピードコントローラー	1	

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84 - 1221
FAX (0533) 84 - 1220